

梅雨の頃の虫たち、

桜の季節が過ぎれば、一気に暖かくなって、植物と同様、虫たちも元気を増してきます。元気を増すというと、良いように聞こえますが、梅雨入りの頃に爆発的に繁殖が進みます。

そしてその中で代表的な嫌悪虫・害虫が、ハチ、シロアリ、ゴキブリです。

益虫にせよ害虫にせよ、季節のサイクルの中で、繁殖期を迎えており、人間がそれを止めることはできません。しかし、繁殖に先駆けて対策を取らないと、結果は明らかです。



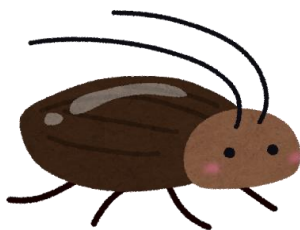
ハチなどは、事前対策が難しいのですが、最近では市販のもので5mぐらい飛ぶ噴霧スプレーがあります。発見が早ければ、私共も何度かこれでアシナガバチの巣の駆除を行っております。

ただ、巣があまりにも大きくなった場合は、業者をお願いすることになります。

一方でスズメバチなどは危険性が高く、我々も正直手出しにくいところです。ただ、神戸市の場合、スズメバチの駆除費用は市がもってくれます。

シロアリもハチと同様に女王アリを中心にコロニーを作り、梅雨の前ぐらいに女王アリが羽アリとなって飛ぶことで住処を替えます。替えた先の定住地で爆発的に繁殖します。シロアリの場合、家の基礎となる木のセルロースを主食とするため、繁殖に伴い、家の傷みが進むこととなります。

シロアリの場合、巣はまさに家の木の中なので、表に出てくることは多くありません。そのため目に見えて気付いたときには、傷みが進行していることが多いため、専門の業者・防蟻屋さんに依頼する方が良いと思われます。なお、鉄筋コンクリート造の建物でも、隙間などから侵入し、構造が固い分木造より駆除に苦労するそうです。油断は禁物です。



ゴキブリは実質の被害よりも嫌悪感が強いものになります。こちらは市販の薬や、昔からあるホウ酸団子が効果があるようです。前入居者の生活環境が悪く、ゴキブリが住み着いてしまうこともあります。

いずれにしても早めの対策で、爆発的繁殖を防ぎましょう。

